

地域教育  
情報紙(25年度)  
第2号

# 風と森

平成25年6月10日発行  
＜担当＞富士・東部教育事務所  
地域教育支援スタッフ  
秋山俊一・高野 修  
小林統也・杉田 眞

富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、地域教育の「横の連携」と「縦の接続」を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。年に8回程度の発行を予定しています。

## ◆ [シオジ森の学校]

シオジ森の学校のオープンキャンパスが、4月20日(土)に大月市総合福祉センターで行われました。学校の講座としては、5月25日(土)に「シオジの森で鳥のさえずりを聞こう」が開設されました。シオジ森の学校は、県有林内の「小金沢シオジの森」をはじめとする北都留地域の優れた自然を次の世代に受け継ぐために、小・中・高校生及び一般の方を対象に、森の重要性とわたしたちとのかかわり等を学ぶことを目的としています。



「小金沢シオジの森」は、山梨百名山のひとつ雁ヶ腹摺山の登山口、大峠を源とする石小屋沢周辺に広がるシオジの群生地周辺(一帯)の森です。山梨県は、昭和56年に学術的に貴重で県を代表する天然林であるとして、この地域に群生するシオジの純林を「学術参考林」に定め、保護しています。みなさんも、普段なかなか入ることができない「小金沢シオジの森」の豊かな自然に触れ、その素晴らしさを体験してみたいはいかがでしょうか。

## ◆ [明日の風 アスリート実技講習会がスタート]

5月11日(土)、大月市営陸上競技場で本年度第1回アスリート実技講習会が開催されました。途中から雨となり、体育館に移動しての開催でしたが、小・中学生約90名、スタッフ12名の参加があり、盛大な第1回の実技講習会となりました。開会式の後、実技ではウォーミングアップから始まり、種目別練習と恒例となっている全員リレーが行われ、保護者の声援のなか、子どもたちはそれぞれの種目に「心地よい汗」を流していました。



「アスリート実技講習会」は、陸上をしたい、自分の記録を高めたいという小中学生の皆さんの参加を待っています。現役アスリートはもちろん、アスリートOBや卓越した指導技術を持つ小・中・高の教職員が指導にあたります。運動はそれだけでも楽しいものですが、基礎を学ぶことでいっそう楽しみが増します。運動を継続することで体力の維持・向上が図られます。

4月26日に第一次の申し込みの〆切を行いました。今後とも随時受け付けていますので、教育事務所までお問い合わせください。

## ◆ [富士吉田地区小中高連携連絡会議]

5月24日(金)、富士吉田市歴史民俗博物館において、南都留地域教育推進連絡協議会主催の「第1回富士吉田地区小中高連携連絡会議」が開催されました。本年度も本会議において、「不登校児童生徒への養護教諭の対応」について研修及び情報交換等を行い、小中高の連携を深めていくことが確認されました。6月27日(木)には、第1回の小中高連携連絡養護教員部会が開催されます。この学習会において、「こすもす教室」の條々篤美先生にもお話をいただく予定です。

## ♪♪ 社会教育関係 ♪♪

### ◆ 「都留市まちづくり交流センター」 オープン

4月28日(日)、生涯学習およびボランティア・市民活動を支援し、まちづくりと市民交流の拠点として「まちづくり交流センター」が都留市にオープンしました。都留市文化会館を耐震工事にあわせ改築したもので、中嶋教育長からは、『世代を超えた市民が気軽に立ち寄れる憩いの場、さまざまな交流を楽しめる場、生涯にわたって学べる場をコンセプトに①中央公民館、②市民活動支援センター、③都留文科大学地域交流研究センター(分室)、④社会福祉協議会(分室)、⑤ファミリーサポートセンター(交流室)の機能を集約し、市民とともに「まちづくり」を推進していく』とのあいさつがありました。2・3階には、市立図書館が併設され、あらたに幼児対象の「おはなしコーナー」や「絵本コーナー」がつけられ、特に1階交流室でのファミサポの活動に期待が寄せられています。都留市民の“つながり”の拠点として、今後の事業展開が楽しみです。



### ◆ 「しまだクラブ」 島田地区放課後子ども教室

5月14日(火)、上野原市放課後子どもプラン推進事業として、第1回上野原市放課後子どもプラン運営委員会が上野原市文化ホールで開催されました。上野原市では、学校の適正配置によりスクールバスでの登下校が主になっている状況です。そのため、午後4時過ぎには子どもたちがほとんどいないという状況下での放課後子ども教室なので、大変難しい条件での実施となっています。平成22年度に運営委員会が設置され、検討を重ねながら平成24年度からの実施となりました。昨年度は、帝京科学大学の学生ボランティアの協力を得て年間10回開催されました。子どもたちにも保護者にも好評で、本年度は希望者数が増え、学生ボランティアに加え、地域の人材を活用しながら年間14回を計画しているとのこと。放課後子ども教室の全県下の実施状況は、平成25年度において、15市町村51教室が開設されています。



### ◆ 「地域における子育て支援のあり方」 かわべしゅうさく 川邊修作先生講演会

5月15日(水)、さわやかな風と光に包まれた日、南都留地区社会教育委員連絡協議会・南都留地区公民館連絡協議会合同の研修会が忍野村生涯学習センターにおいて開催され、ガイダンス・カウンセラーの川邊修作先生が講演を行いました。南都留8市町村の社会教育担当者と社会教育委員および公民館役職員に加え、地区のSSW、各市町村の主任児童委員や学童保育担当者など子育て支援活動をされている方々が集まりました。現在、川邊先生は富士河口湖町において子育てカウンセリングを行っており、この南都留地区の実情についても十分に把握されています。現代の社会背景や環境の変化により「家庭教育が困難になっている社会」といわれる状況の中、「子どもの心の育ち、親の心」について親の不安を取り除き、子どもの気持ちと親の心のバランスを取り戻すことの大切さについてお話をされました。講演後の反響も大きく、「子育て相談」の開設を希望される市町村もありました。今後は、教育事務所として川邊先生と上野原市や大月市とのつながりを模索していきたいと考えています。

